

弘大と大正製薬 研究講座を開設

「かぜ」などテーマ

弘前大学と大正製薬（本社東京）は27日、健康増進のための共同研究講座「プレシジョンヘルスケア学講座」を開設したと発表した。同社は岩木健康増進プロジェクトのビッグデータを基に、「感冒（かぜ）」「疲労」「毛髪」の3分野を主軸テーマに薬などの開発を目指す。

開設期間は4月1日から2024年3月までの3年間。一人一人の心身やライフスタイルに合った健康づくりにつながる商品やサービスの開発を目指す。同プロジェクトをベースにした「弘大COI（センター・オブ・イノベーション）」関係の共同研究講座は15例目となる。

27日に学内で行われた開設式で、講座を担当する中

路重之特任教授は「風邪をひきやすい、ひきにくいなど、今までよく分かっていたことがよく分かっていかなかったことをビッグデータで明らかにし、薬を開発できる。夢のある講座」と意気込みを語った。

（福土和久）